

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493500092	事業の開始年月日	平成21年4月1日
		指定年月日	平成21年4月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター長沼町		
所在地	(244-0841) 神奈川県横浜市長沼町 8 3 6 - 4		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成25年12月11日	評価結果 市町村受理日	平成26年2月24日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaiyokensaku.jp/14/index.php?action_kouhyou_detail
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スタッフ同士の関係を図り、情報共有の強化を行い、お客様一人一人の思いを受け止め日々努めている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年12月25日	評価機関 評価決定日	平成26年4月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所はJR戸塚駅からバスで約10分ほどの、バス通りから奥に入った郊外の閑静な住宅地に位置している。事業所周辺は丘陵地で緩やかな坂道であるが道幅も広く静かである。事業所の敷地は広く建物の前は駐車場と家庭菜園があり、利用者の日光浴や外気浴、花や野菜を育てたりイベントなどに活用している。</p> <p>【新体制の構築と職員の連携】 管理者は、平成26年1月の新体制発足に当たり、利用者の能力を活かし、健康を維持した自立支援、安心・安全で質の高いサービス提供、地域に開かれた事業所、法令遵守という主旨の「サービスの心得」を職員に示して周知を図っている。管理者は会議や日頃のサービスの場で、職員の意見や提案を聞いたり質問に答えるなど職員が自由にものが言える関係づくりに努力している。職員は、日頃からコミュニケーションを密にして意見交換を行い、健康管理の方法や食事の内容変更、職員人事などについて提案して実行に移している。利用者のケアについても連携してサービスに当たっている。調査当日の昼食時に、手分けして食事介助、食後の口腔ケア、食器拭きの手伝いなど利用者の様々な状況に合わせて手際よく支援していた。</p> <p>【看取り介護の実施】 事業所では、医療連携体制加算の要件を満たす「重度化した場合における対応に係る指針」を、契約時に利用者・家族に説明し同意を得ており、24時間対応の往診医および看護師との連携体制をとっている。管理者は、終末期の医療について研修を受けている。最近では、重度化した利用者の家族の希望を受けて、往診医と事業所を交えて話し合っ同意の上で看取りを実施した。実施状況は全体会議で報告し、質疑応答を経て職員全員で情報共有している。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイセアセンター長沼町
ユニット名	たんぼぼ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎日、朝礼時に弊社の社是、経営理念を唱和し理念を共有し実践できるように努力している。</p>	<p>事業所では、設立当初より社是、「誠意・誇り・情熱」及び法人の経営理念を事業所理念と定め、1階のフロアに掲示し毎朝朝礼時に唱和している。職員は理念を認識し、熱意を持って誠実にケアを行い、利用者が自分らしさを保ち安心して日々の生活を送ることができるようにサポートしている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の方が参加できるイベントを企画し、交流の場を設けるように努力している。</p>	<p>地区の町内会に加入している。事業所主催のニチイ祭りには、町内会の人たちが焼きそばの道具を用意し出店してくれた。近隣の小学校4年生数名が車椅子を使用する人の気持ちを知らせたいと来訪し、利用者話し合っ交流した。利用者の家族の紹介で、ハーモニカ演奏のボランティアが来訪している。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の人々との交流の場への参加をし、認知症を理解して頂けるよう努力している。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的開催し報告、話し合い意見の交換をしサービスの向上に努力している。</p>	<p>運営推進会議は年6回開催している。利用者や活動の状況報告や事故報告の後、家族・利用者との質疑応答を行っている。参加者は地区の民生委員、栄区の高齢者支援課担当職員、地域包括支援センター職員、家族会代表、利用者代表、事務局となっているが、町内会関係者の出席はない。</p>	<p>町内会長への運営推進会議出席の呼びかけを継続して参加を実現し、地域との連携を深めると共に地域行事への参加により外出の機会を増やすことを期待します。</p>
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>日頃から市町村の担当者や連絡を取り、情報の交換をしている。</p>	<p>栄区の高齢福祉担当者とは、運営推進会議を通じて運営に関するアドバイスや地域資源の紹介などで連携している。生活保護担当者とは生活保護費受給者について連絡を取り情報を共有している。地域包括支援センターが実施する「感染症対策」の講習を職員が受講した。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関の施錠をせず、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、年間の研修計画に身体拘束の排除を盛り込んでいる。</p>	<p>運営規定や契約書などに身体拘束排除を明記し、契約時に説明している。マニュアルを基に新人・職員研修を実施している。車椅子利用の場合も、時折椅子に移乗してもらうなどしている。玄関やフロア入口は、夜間を除き解錠し1階出入り口にセンサーを設置して不意の外出に備えている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年必ず高齢者虐待防止についての研修を行っている。高齢者虐待について理解し、職員間での議論の場を設け、意識を高める事で、防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活支援や成年後見人制度など個々が必要としている支援ができるよう情報を収集し対応している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族と十分に話し合い、不安や疑問点を解決できるまでお伝えし支援する努力をする。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の開催、顧客満足度調査を実施し、その後の運営に反映できるように努力している。</p>	<p>毎年、顧客満足度調査を行って結果を職員会議で検討し、家族会で報告している。事業所のイベントや家族の来訪時および電話があった際に利用者の状況を伝え希望・要望を聞いている。家族の意向や要望は事業所全体で話し合っ、できるだけ運営やサービスに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見を聞く機会、(カンファレンス、全体会議)など設けられる限り反映できるように努力している。	管理者は、毎月のユニット会議などで職員の意見や提案を聞いている。日頃の業務の際にも職員とできるだけ意見交換をして、職員とのコミュニケーションを大切にしている。職員人事についても、職員の意見や要望を考慮し、年功序列にとらわれないでリーダーなどを決めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成を行い、勤務状況の把握に努めています。またスタッフとのコミュニケーションを蜜に図り、各自が業務に対しての理解を深め向上心を持って働けるよう努力しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力を把握し、キャリアアップ制度の活用、区、市で行われる研修などに参加できるように努力しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今後、取り組んで行く努力をしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様とのコミュニケーションを常に図り、情報収集をし安心した環境を確保できるように努力して行く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様の思い、要望を聞き不安を取り除き、信頼関係が築けるよう努力している。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>職員がサポートし、暮らしやすい環境をつくることで良い関係が築けるよう努力しています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご家族様、スタッフ間で情報の共有に努め双方の関係を保ち支援して行く。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>情報の収集に努め、関係が維持できるよう支援する。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>情報の収集に努め、関係が維持できるよう支援する。</p> <p>また、馴染みの人が面会に来た場合に、コミュニケーションの仲介や場の設定を行っている。</p>	<p>利用者の友人、遠い親戚や家族が来訪したときはリビングや居室に案内し、茶菓の接待をしている。以前からの知り合いや家族からの電話、手紙・年賀状等の取り次ぎや保管を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り、利用者様同士コミュニケーションが持てるよう努めている。レクリエーションなどへの参加を促し楽しく利用者様同士が関われるよう努めている、		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後であっても、ご家族様からの相談があれば対応するよう努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	計画作成時、本人や家族からの意向の確認を行っている。上記が困難な場合は、普段の様子等を参考に、本人本位に検討している。	入居時の面接で利用者の生活歴や思いを聞き取り、状況の変化に応じて随時アセスメントを行っている。言葉にしづらい思いなどは、会話を工夫したり表情や仕草から利用者の思いを察知するようにしている。意志の疎通が難しいときは家族から聞き取ったり、日常の行動から読み取ったりしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様との話し合いを常に持ち、生活歴などの情報の収集に努める。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察で状態、状況の把握に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>モニタリングや介護計画作成時において、チームアプローチを意識し、それぞれの意見やアイデアが反映されるように努力している。</p>	<p>アセスメントで利用者の状況や家族の希望を把握して介護計画を立てている。計画の実施状況を記録してモニタリング表を作成し、カンファレンスで担当職員の意見を聞いている。計画の見直しは3か月または状況の変化により随時行っている。必要に応じて家族の意見および医師のアドバイスを取り入れている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の状態、状況の様子観察、情報共有できるよう指導行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々のニーズに合わせて柔軟な支援ができるように日々の観察を怠らず情報の共有に努める。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>安全で豊かに楽しく生活ができるように活用」できる場所の情報を収集し提供できるよう努力していきます。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診時にはご家族様に状態、状況を伝え、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>24時間対応の内科往診医が月2回来訪している。緊急時対応は協力医療機関に依頼している。看護師は週1回健康管理等で来ている。歯科衛生士は週1回口腔ケアで来訪し、状況により歯科医に連絡して訪問診療している。他の科目は原則として家族が対応しており、受診後に家族から報告を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>情報を共有し往診医との連携が図れるよう努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者、ご家族様との連絡をこまめに取り情報の共有、交換を行い早期退院への支援に努める。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化、医療的措置が見込まれる場合は早期にご家族様と話し合い、必要に応じて包括などに相談し支援に努める。</p>	<p>「重度化した場合における対応に係る指針」は契約時に説明し、職員にも説明し周知している。実際に重度化した場合には、家族の希望により24時間対応の往診医と事業所を加えて三者で話し合って同意を得て看取りを行っている。看取りの実施について、全体会議で報告し全員で共有している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応は周知、徹底中です。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防、地域の方々の協力のもと年2回の避難訓練を実施している。また、その内1回は、地域の方に参加していただいている。</p>	<p>避難訓練は4月、12月の年2回で、消防署立ち会いのもと行っており、夜間想定訓練も実施している。地域の住民が9名参加している。地域の方には一時避難の見守りを依頼している。災害備蓄は法人のリストに基づいて、職員を含め3日分の食料や水を備蓄している。災害時セットや簡易トイレ等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	強要せず、否定的な声かけにならないように心がけ、対応に努めている。	毎年、接遇や個人情報保護に関する研修を行っている。法人では、職員に個人情報保護に関するテストを実施して周知徹底を図っている。職員は、利用者に対して常に尊敬を持った言葉を使用するように心がけている。利用者のプライバシーは、職員間でも話すことがないように注意している。個人の書類は、施錠できる書棚で保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が決定するのではなく、ご利用者様の意思を尊重できるように働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先するのではなく、ご利用者様の希望をできるだけ優先するよう指導している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容室を利用し、日頃からおしゃれや身だしなみに気をつけている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と共に調理や片付けを行えるように努力している。	食事の献立は、ユニットごとに担当者が作り季節のものも取り入れるように努力している。住宅地なので近隣に店がなく、ネットスーパーを利用して食材を調達している。米や牛乳は、地元の町内会員等の店から購入している。配膳や食後の後片付けをできる方が行っている。利用者の状況により減塩や糖尿病の対策をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量のチェックをこまめに行い、健康管理に努めている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>週一回の歯科往診にて口腔ケアをしてもらい、毎食後の口腔ケアは職員が行い支援している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、定時でのトイレ誘導を行っている。また、定時以外でも必要に応じて誘導を行い、排泄の自立に向けて支援している。</p>	<p>個人別チェック表で尿と便の量や時間を把握して、タイミングを見て声かけ・誘導を行っている。失敗したときなどは、さりげなく広いトイレに誘導し素早く対応している。退院された方について、問題点を抽出して誘導の工夫をしてリハビリパンツから布パンツに改善した事例がある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事量、水分量摂取量の把握。散歩、運動への参加の働きかけを行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本となる予定はあるが、それ以外でも個々の希望に添えるように努め、実践している。</p>	<p>入浴チェック表で確認しながら声かけしている。毎日入りたい利用者はいないが、最低でも週に2日は入浴してもらえるよう努力している。入りたがらない利用者にはタイミングや曜日、職員を変えて誘っている。菖蒲湯や柚子湯など季節の行事に合わせて入浴を促す工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ひとり、ひとりの時間、生活習慣を考慮し安心して休んで頂けるよう支援する。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理、服薬確認は職員が行い支援する。薬の用法などの把握に努める。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとり、ひとりの生活歴を理解し、その人それぞれの役割や趣味を持ち張り合いのある日々が過ごせるよう支援して行く。			
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様の希望で外出できるよう努めている。 また、ご家族様との外出の際は、近況や体調等の情報を提供するという、必要な支援を行っている。	天気が良ければ、近くの公園等まで散歩している。歩行困難な場合も車椅子で対応している。事業所の前は菜園や広い駐車場があり、天気の良い日は日光浴や外気浴をしている。遠方への外出は、車の手配の問題もあり実施を検討中である。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理は職員が行っているが、買物などへは一緒に出かけご利用者様ご本人の希望に添えるよう努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の希望があれば、手紙のやり取りご家族様、ご友人への電話はしている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度調整をこまめに行い季節感を取り入れ、生活しやすい空間を作るよう努めている。	建物は、バリアフリーで廊下は広く、レクリエーションや家族会等に利用できる。リビングは南向きで採光が良く明るい。対面式のオープンキッチンがあり、ユニット全体を見渡したり利用者が手伝いやすい。一角にある和室は、掘りごたつにしたり季節の飾り付けを置くなど多目的に使用している。専門業者が年2回清掃している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でもひとり、ひとりの時間ができるように和室など使用し独りになれる空間づくりに努めている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使いなれ親しんだ家具、食器など使用して頂き、また居室内の配置についてもご家族様と相談し、ご本人の状態にあった環境設定を行っている。	居室は、空調設備・補助照明器具が備わり、カーテンや照明器具、使い慣れた家具まを持ち込み、家族の写真や絵などを飾って自分らしい部屋にしている。清掃はスタッフが行っているが利用者が手伝うこともある。居室の表札は名前を大きくするなど見やすくしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員見守りの中、自ら歩行練習できるように安全な場所の提供。		

事業所名	ニチイセアセンター長沼町
ユニット名	はなみずき

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日、朝礼時に弊社の社是、経営理念を唱和し理念を共有し実践できるように努力している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方が参加できるイベントを企画し、交流の場を設けるように努力している。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々との交流の場への参加をし、認知症を理解して頂けるよう努力している。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的開催し報告、話し合い意見の交換をしサービスの向上に努力している。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から市町村の担当者と連絡を取り、情報の交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関の施錠をせず、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>また、年間の研修計画に身体拘束の排除を盛り込んでいる。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年必ず高齢者虐待防止についての研修を行っている。</p> <p>高齢者虐待について理解し、職員間での議論の場を設け、意識を高める事で、防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活支援や成年後見人制度など個々が必要としている支援ができるよう情報を収集し対応している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族と十分に話し合い、不安や疑問点を解決できるまでお伝えし支援する努力をする。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の開催、顧客満足度調査を実施し、その後の運営に反映できるように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見を聞く機会、(カンファレンス、全体会議)など設けられる限り反映できるように努力している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成を行い、勤務状況の把握に努めています。またスタッフとのコミュニケーションを密に図り、各自が業務に対する理解を深め向上心を持って働けるよう努力しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力を把握し、キャリアアップ制度の活用、区、市で行われる研修などに参加できるよう努力しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今後、取り組んで行く努力をしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様とのコミュニケーションを常に図り、情報収集をし安心した環境を確保できるよう努力して行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の思い、要望を聞き不安を取り除き、信頼関係が築けるよう努力しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員がサポートし、暮らしやすい環境をつくることで良い関係が築けるよう努力しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご家族様、スタッフ間で情報の共有に努め双方の関係を保ち支援して行く。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報の収集に努め、関係が維持できるよう支援する。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	情報の収集に努め、関係が維持できるよう支援する。 また、馴染みの人が面会に来た場合に、コミュニケーションの仲介や場の設定を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り、利用者様同士コミュニケーションが持てるよう努めている。レクレーションなどへの参加を促し楽しく利用者様同士が関われるよう努めている、		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後であっても、ご家族様からの相談があれば対応するよう努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	計画作成時、本人や家族からの意向の確認を行っている。 上記が困難な場合は、普段の様子等を参考に、本人本位に検討している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様との話し合いを常に持ち、生活歴などの情報の収集に努める。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察で状態、状況の把握に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>モニタリングや介護計画作成時において、チームアプローチを意識し、それぞれの意見やアイデアが反映されるように努力している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の状態、状況の様子観察、情報共有できるよう指導行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々のニーズに合わせて柔軟な支援ができるように日々の観察を怠らず情報の共有に努める。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>安全で豊かに楽しく生活ができるように活用」できる場所の情報を収集し提供できるよう努力していきます。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診時にはご家族様に状態、状況を伝え、適切な医療が受けられるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>情報を共有し往診医との連携が図れるよう努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者、ご家族様との連絡をこまめに取り情報の共有、交換を行い早期退院への支援に努める。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化、医療的措置が見込まれる場合は早期にご家族様と話し合い、必要に応じて包括などに相談し支援に努める。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応は周知、徹底中です。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防、地域の方々の協力のもと年2回の避難訓練を実施している。また、その内1回は、地域の方に参加していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	強要せず、否定的な声かけにならないように心がけ、対応に努めています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が決定するのではなく、ご利用者様の意思を尊重できるよう働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先するのではなく、ご利用者様の希望をできるだけ優先するよう指導している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容室を利用し、日頃からおしゃれや身だしなみに気をつけている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と共に調理や片付けを行えるように努力している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量のチェックをこまめに行い、健康管理に努めている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>週一回の歯科往診にて口腔ケアをしてもらい、毎食後の口腔ケアは職員が行い支援している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、定時でのトイレ誘導を行っている。また、定時以外でも必要に応じて誘導を行い、排泄の自立に向けて支援している。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事量、水分量摂取量の把握。散歩、運動への参加の働きかけを行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本となる予定はあるが、それ以外でも個々の希望に添えるように努め、実践している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	ひとり、ひとりの時間、生活習慣を考慮し安心して休んで頂けるよう支援する。		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	薬の管理、服薬確認は職員が行い支援する。薬の用法などの把握に努める。		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	ひとり、ひとりの生活歴を理解し、その人それぞれの役割や趣味を持ち張り合いのある日々が過ごせるよう支援して行く。		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	ご本人様の希望で外出できるよう努めている。また、ご家族様との外出の際は、近況や体調等の情報を提供するといった、必要な支援を行っている。		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	金銭の管理は職員が行なっているが、買物などへは一緒に出かけご利用者様ご本人の希望に添えるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の希望があれば、手紙のやり取りご家族様、ご友人への電話はしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度調整をこまめに行い季節感を取り入れ、生活しやすい空間を作るよう努めています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でもひとり、ひとりの時間ができるように和室など使用し独りになれる空間づくりに努めています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使いなれ親しんだ家具、食器など使用して頂き、また居室内の配置についてもご家族様と相談し、ご本人の状態にあった環境設定を行っている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員見守りの中、自ら歩行練習できるよう安全な場所の提供。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター長沼町

作成日 平成26年2月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	参加者名簿に「地域住民の代表者又は当該サービスに知見を有する者」区分の町内会長が含まれているが、ここ最近では参加実績が無い。現状で参加があるのは民生委員のみ。	「地域住民の代表者又は当該サービスに知見を有する者」区分で、町内会長または、町内会関係者に参加していただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長への働きかけ(会議の意義について再度説明等)。 ・町内会長が参加困難な場合、新たな参加者の選出。 	3ヵ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。